

冬の星

谷垣満壽子

明日試験祈りて見上ぐ冬の星

友は今如何に過ごすや都鳥

投函のついでに眺む冬桜

よき香放つ枯葉の山に潜る子等

底冷えや幾度も緑茶淹れ替へる

寒灯のぼつと消えけりバス通り

靴音の忙しげに行く年の暮

積雪は如何ばかりかと雪女郎

服喪てふ身の置き処年用意

初鏡口紅の色少し変へ